



ほうへいかいほう

Vol.72 2014.3.15

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 高田哲也 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161



C O N T E N T S

●同窓の夕べ	2
●卒業おめでとう	3
●全国支部長会議	4
●第6回ホームカミングデー報告	5
●2014年度入試動向	6
●就職戦線	7
●国政で活躍するOB対談	8
●研究室のいま 鈴木聡士教授	10
●現役学生インタビュー	11
●輝く北のまち紹介リレー 岩内町	12
●支部紹介「応援団OB尚志会」	13
●支部だより	14
●支部現況・連絡先	15
●クラブ・サークル活動通信 / 事務局からのお知らせ	16

工学部建築学科 卒業設計

同窓の夕べ

平成25年度 総会・懇親会

北海学園大学同窓会の平成25年度の総会・懇親会が10月26日(土)に開かれ、道内外からの同窓生・学園・大学関係者ら約750名が出席した。

総会は、宮本雅次副会長の開会宣言で開催され、名塩良一郎副会長の挨拶、木村和範学長の祝辞、高田哲也事務局長の事業報告が行われた。

引き続き懇親会が行われ、北海学園札幌高等学校 大久保正校長の乾杯の音頭の後、懐かしい恩師や仲間との歓談、その合間には、平成25年度 YOSAKOIソーラン大賞を受賞した本学「よさこいソーランチーム粋〜IKI〜」による演舞、クリプトン・サウンド・クリエイト賞でグランプリを受賞した本学「フリーフォームレスジャズオーケストラ」の演奏、シンガーソングライター「山口孝司ライブ」(工学部平成15年卒業)等で盛り上がった。

また、「学園グレイトビンゴ」特賞のソウルベア旅行には、佐々木光寿氏(平15法)がビンゴ! 最後に第59代現役応援団長石井詩朗氏(人文学部2年)のエールに合わせ、ステージ上の

北の都に輝く星は凜とそびえる北海の

集いし我等!

乾杯!



挨拶する名塩副会長



よさこいソーランチーム 粋〜IKI〜



全国から参加した支部長紹介

平成26年度の総会・懇親会は10月25日(土) 18時より札幌パークホテルで開催します。

応援団OBと共に全員で『学生歌』を斉唱し、宮崎文彦幹事の三本締めでお開きとなった。



見事海外旅行ビンゴ!!



フリーフォームレスジャズオーケストラ



山口孝司氏



宮崎幹事による三本締め



現役応援団長のエールに合わせ学生歌斉唱する応援団OB



山口孝司ライブ

平成25年度

『同窓の夕べ』ビンゴ当選者

- 劇団四季ミュージカル『オペラ座の怪人』ベア2組
 - 佐藤 忠 氏 昭38 経
 - 沢木 秀樹 氏 昭59 営
- パークゴルフセット 3台
 - 伊藤 捨雄 氏 昭44 経
 - 成田 民治 氏 昭44 法
 - 佐々木 良 氏 平 9 土

●海外旅行

2泊3日 ベア1組
佐々木光寿 氏 平15 法

●温泉旅行 道内温泉1泊2日 ベア5組

三佐川克久 氏 昭47 営	三國 晃義 氏 昭61 土
上野 和雄 氏 昭50 営	矢田 雅之 氏 平13 営
岡崎 敏章 氏 昭55 建	

●自転車 折りたたみ 8台

中鉢 光次 氏 昭36 経	渡邊 一範 氏 昭47 建
大野 順治 氏 昭37 経	山根 正裕 氏 平 2 土
栗津 靖男 氏 昭40 経	諏訪 大介 氏 平10 営
所村 武彦 氏 昭46 法	谷 吉雄 氏 名誉教授

●宿泊券 東京ドームホテル 1名

田口 浩司 氏 平元 営

●ニトリホールディングス オルガヘキサシート・リストバンドセット 出席者全員



新会員に期待する

会長 森本 正夫



北海学園大学・同大学院の学生生活を終え、晴れの卒業証書・学位記を手に新しく社会に雄飛される諸君に心からお慶びを申しあげます。

本日からは北海学園大学同窓会の会員として新たに仲間入りしていただくことになりました。若く実行力に富む皆様をお迎えできることは本会としては何ものにも替えがたい力強さを感じるものであり、心から歓迎を申しあげます。

ご承知のように、北海学園大学は昭和25年に北海道短期大学として発足し、27年には北海道における最初の4年生の私立大学として創立されました。今日では5学部12学科、各学部には大学院(博士課程)を有する道内最大の私立総合大学として、教育・研究実績が高く評価されてきています。

同窓会の発足は1期生が誕生する昭和29年3月であります。1期生と2期生が話し合い自らの門出を祝う会を開催するために同窓会を創ったのがはじまりです。

ここで改めて述べるまでもなく、同窓会は独立して存在するものではなく、常に母校北海学園大学の発展と一体となつて将来を展望するとともに、会員80,000余名のひとりひとりがその重要な役割を充分にはたさなければならぬと考えています。

私立大学を取りまく環境は、近年の長引く経済不況、そして回復の目途が立たない少子化社会の到来等厳しいものがあります。このような時期に、皆様を会員として迎えることは、大変力強いことであり、社会人としての活躍を期するとともに、会員として母校発展のため、大いに協力をお願いし、歓迎の言葉といたします。

卒業おめでとう

卒業生の声

- Q1 学園大に入って良かったこと
Q2 大学で頑張ったこと
Q3 4月からは... (進路等)
Q4 あなたにとって「仲間」とは？

法学部法律学科 安井 詩絵
所属ゼミ/新山ゼミ
所属サークル等/少林寺拳法部
Q1 今の自分があること。学園大に入っていなければ、友人も部活も就職先も全く違っていたはず。充実した大学生活を送れました！
Q2 部活動です。未経験でしたが縁あって入部し、文武両道で頑張りました。先輩・後輩・同期にも恵まれ、入部して本当に良かったです。
Q3 北海道大学の職員として働きます。日本・世界各地から様々な人が集まる北海道大学で、教育や研究を支える一員として頑張ります。
Q4 楽しいことも大変なことも一緒に味わってきた人です。大学で出会った人たちの繋がりは卒業してもずっと大切にしたいです。

経済学部経済学科 桑原 貴志
所属ゼミ/野口剛ゼミ
所属サークル等/会計研究会
Q1 就職活動の支援が手厚いことです。キャリア支援センターや、ミナトコムジュニアの支援は、他大学にも誇れるものだと思います。
Q2 関西大学とのゼミ討論です。論文作成から討論を通じて、成長できる場を提供してくれた野口先生には感謝しています。
Q3 製薬会社の営業として働きます。多くの人の健康に貢献するため、学ぶことを怠らず、自社製品の情報提供活動に励みます。
Q4 協力して物事に取り組んできた人々です。そうして知り合った人々は大事な存在であり、今後も交流し続けたいと思います。

人文学部日本文化学科 作間慎一郎
所属ゼミ/郡司ゼミ
所属サークル等/ボランティアねっとP コネクション
Q1 公務員受験生へのサポート体制がしっかりしていたことです。学内講座やキャリア支援センターのセミナーはとても役立ちました。
Q2 サークル活動です。ボランティアを通じて様々な人と出会えたことは、自らの成長の糧になりました。
Q3 北海道職員として働きます。多くの経験を積んで、道民の方々にしっかり奉仕したいと思っています。
Q4 楽しいことやつらいことを共有した人達です。卒業後も今まで築いた交友関係を大切にしていきたいと思っています。

経営学部経営情報学科 岩谷 樹
所属ゼミ/今村ゼミ
所属サークル等/なし
Q1 沢山のひとと出会えたことです。大学4年間で沢山のひとと関わることが出来、私自身成長出来たと思います。
Q2 就職活動です。始める前は不安しかなかった就活ですが、人生の中で一番自分と向き合った期間であり、とても充実していました。
Q3 北海道銀行に就職します。毎日が勉強の職業だと思っているので、向上心を持って努力していきたいと思っています。
Q4 自分を成長させてくれる存在です。切磋琢磨しながら、また苦しいときは支えあうことが出来ます。今後も交友関係を大切にしたいです。

工学部電子情報工学科・電子情報コース
(大学院工学研究科・電子情報工学専攻・修士課程)
塩濱 教幸
所属ゼミ/深谷健一研究室
Q1 自分のやりたい事が見つかった事です。大学院に入り研究をするきっかけを与えて下さった先生に感謝しています。
Q2 研究会などに参加し、様々な人の発表を聞き、また、自分も発表することで意見をもちょうことができ、良い経験となりました。
Q3 SEとして働きます。研究の中で勉強してきたプログラミングの知識などを活かしていきたいです。
Q4 競い合うことができ、そして、お互いの足りないところを補いながら目標に向かって頑張ることができる人達です。

法学部法律学科 馬場 彩美
所属ゼミ/山本ゼミ
所属サークル等/準硬式野球部
Q1 たくさんのひとと出会えたことです。学部・部活・ゼミ・ミナトコムジュニア等、本当に多くのひとと関わることができた4年間でした。
Q2 部活動です。準硬式野球部のマネージャーとして活動し、最後の大会では全国大会に出場できました！一生忘れられない思い出です。
Q3 銀行に就職します。お客様が安心してお金を預けられるよう、信頼される銀行員になりたいです。
Q4 楽しい時も辛い時も一緒に過ごした、心から大切に思える人です！卒業後もずっとこの繋がりを大切にしていきたいと思っています。

協賛 平成25年度『同窓の夕べ』ビンゴ景品一覧

- 海外旅行(2泊3日)ペアでご招待 1本 北海学園大学同窓会
温泉旅行(定山深・登別・洞爺湖2泊2日)ペアでご招待 5本 北海学園大学同窓会
劇団四季ミュージカル『オペラ座の怪人』ペアでご招待 2本 劇団四季
折りたたみ自転車 8本 北海学園大学同窓会
東京ドームホテル宿泊券 1本 東京ドームホテル札幌中道リース(株)
パークゴルフセット 3セット 東京ドームホテル札幌エルムリース(株)
ハンディサイクロンクリーナー 5本 札幌トロフィー(株)
ホームペーカリー 1本 北海学園大学同窓会
空気清浄機 1本 北海学園大学同窓会
加湿器 1本 北海学園大学同窓会
食事券 6本 札幌パークホテル(株)須田製版(株)遊プラン(株)遊プラン
お米券(8kg) 5本 北海学園大学同窓会
ジャスマック温泉券 ペアでご招待 2本 北海学園大学同窓会
JCB商品券 3,000円 1本 北海学園大学同窓会
目玉焼き機能付オーブントースター 1本 北海学園大学同窓会
電気ケトル 1.2ℓ 2本 北海学園大学同窓会
山木康世 DVD ~緑一色 All Green~ 12本 北海学園大学同窓会
山口孝司 CD ~繋がる命~ 10本 北海学園大学同窓会
音波振動式歯ブラシ 1本 北海学園大学同窓会
芋焼酎 海童「祝の赤」 20本 カタギリ・コーポレーション(株)
清酒「北の錦」本醸造 12本 小林酒造(株)
図書カード 1,000円 20本 中西印刷(株)
フイン 20本 道路工業(株)
スパークリングワイン 6本 (株)アイワード
防災デスクライト 3本 (株)マキ商会
クリーニング機能付 デジタルカメラケース 5本 (株)マキ商会
プログレッシブ スライサー&ウエッジャー 5本 (株)すぎたま
北の想い出 20本 (株)ナシオ
オルガヘキシート・リストバンドセット 800本 (株)ニトリホールディングス
アサヒスーパードライ 20本 5セット (株)マルヨシ
きな粉 40本 (株)坂口製粉所
きな粉クリーミー 24本 (株)坂口製粉所
さんくろスプレッド 24本 (株)坂口製粉所
日本酒セット 5本 (株)廣濟堂

★ビンゴ景品のご寄贈ありがとうございます

平成25年度 全国支部長会議

全国支部長会議が、10月26日(土)札幌パークホテルで全国42支部から支部長、支部長代理、同窓会役員が出席して開催された。森本会長の挨拶で始まり、本学入試部長真柄祥吾教授より「入試の現状」についての報告、各支部長から支部活動の現況等について意見交換がなされた。

また、本学横山純一法学部教授による「高齢者介護と財源問題」と題した講演も行われた。



出席者名簿 ※準支部

役員	支部名	氏名	支部名	氏名
会長	空知支部	佐野 秀幸	北門会	大内 修吾
森本 正夫	苫小牧支部	森 幹弘	帯広信用金庫支部	高松 弘幸
副会長	釧路支部	花井 啓司	ゆうほう会	代理 板垣 俊夫
名塩良一郎	北見支部	代理 伊藤 達生	静内支部	増本 裕治
宮本 雅次	根室支部	田村 悦郎	関西支部	代理 中村 保忠
事務局長	札幌東区支部	佐藤 寿一	伊藤組土建支部	山下 齊之
高田 哲也	豊陽会	小林 憲雄	千歳支部	石塚 雅樹
常任幹事	石狩市役所支部	大林 啓二	東園会	代理 武田 一樹
瀧澤 嘉門	北海学園大学支部	代理 油矢 誠	応援団 OB 高志会	代理 菊地 伸樹
杉山 隆俊	東京支部首都圏会	岩井 久則	会計学友会	照井 俊夫
大澤 定雄	道南支部	代理 小林 雄次	写真部 OB 北彩会	泉澤 宏昭
日和 哲志	旭川支部	齋藤 昂一	サッカー部 OB 会	阿波 昭則
石澤 勝明	つうけん支部	大石 康文	岩見沢市役所支部	中山 章
成田真利子	小樽支部	金澤 治	グリークラブOB会	田村 英治
津島 慧	岩田地崎建設支部	三好 修	山岳部 OB 会	江口 功
須田 勝一	北広島市役所支部	櫻井 芳信	リコージャパン支部	星川 治男
常任監事	稚内支部	高坂 国隆	※経三期会	宮崎 文彦
高岡 昌和	江別市役所支部	中川 雅志	※経五期会	中村 孝
横谷 貞夫	木端会	白鳥 健志	※経六期会	中平 治
	北社会	東 彰	※経八期会	中鉢 光次
	北翔会	代理 木村 隆暢	※蝸牛会	木津谷士朗



私は、仕事の都合上、1月3日から頂いた旅行に行かさせて頂きました。韓国は、メディア報道にもあるような、反日行動などは、一切無く、むしろ日本人観光客を歓迎している感をいくつかの場所でも多くうけました。その中でも一番印象に残っている場所は、やはり北朝鮮との国境上にある「板門店」でした。現在は、北朝鮮との関係が非常に悪化しているの、条件付きのツアーでしたが、何事もなく見学できました。現地に行ってみると、戦争など起きる雰囲気など一切なく、多少の緊張感はありませんでしたが、むしろ韓国兵が非常にハンサムだった事が印象に残っています。この度の韓国旅行で実感した事は、メディアの役割は、責任深いものだと思われ、実感したと共に韓国人は、日本と友好であると思っている方が多いのが驚きました。韓国料理も私の口にあい、ストレスなく非常に有意義な旅行をさせて頂きました。有難うございました。



「韓国旅行記」

佐々木 光寿

法学部法律学科
平成 15年卒業



第6回 ホームカミングデー開催報告

2013年10月12日(土)

2013年10月12日(土)、豊平キャンパスにて第6回「ホームカミングデー」を開催しました。

今年は、第1回『学園かえるカフェ』と題して短歌界が注目する歌人、山田航氏(本学大学院文学研究科修士2年)をお迎しの短歌入門講座、学園OBによる野菜・果物産直市『北海マルシェ』、OB異業種ネットワークによる『無料カイロ施術』(協力:日本カイロプラクティックドクター専門学院札幌校)、写真部OB北彩会による『写真展』、そして昼食の無料提供『学食deランチ』に約250名の方にご参加いただきました。

第1回「学園かえるカフェ」

山田航が叫ぶ!山田航と叫ぶ!短歌入門

- 話し手: 歌人 山田航さん(大学院文学研究科修士2年)
- 聞き手: 大石和久さん(人文学部教授)
- 小島康次さん(経営学部教授、図書館長)
- 田中 綾さん(人文学部准教授)
- 進行: 樽見弘紀さん(法学部教授、法学部長)



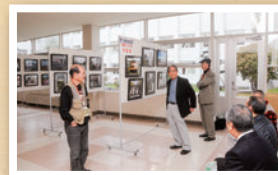
「北海マルシェ」



「無料カイロ施術」



写真部OB北彩会「写真展」



「学食deランチ」



OPEN SPACE

オープンスペース

平成 25 年「司法試験」3 名合格

平成 25 年司法試験の合格者が 2013 年 9 月 10 日に法務省から発表された。本学法務研究科(法科大学院)からは 28 名が受験し 3 名が合格。これで本学修了生 6 年間の合格者合計は 29 名(平成 20 年度 2 名、21 年度 7 名、22 年度 3 名、23 年度 10 名、24 年度 4 名、25 年度 3 名)となった。

〈司法試験合格者〉※敬称略

木下 雄高、加畑 裕一郎、佐々木 憲昭

佐々木修一氏 遠軽町長選で 2 選果たす!

遠軽町長選挙の投開票が平成 25 年 10 月 20 日に行われ、昭和 56 年経済学部卒業の佐々木修一氏が当選しました。

佐々木氏は平成 21 年 10 月に遠軽町長に就任、2 期目となります。

OB 異業種ネットワーク 年末交流会

2013 年 12 月 26 日、東京ドームホテル札幌にて OB 異業種ネットワークによる年末交流会が開催されました。

北海学園大学写真部 OB & OG 会写真展のご案内

開催日時:平成 26 年 4 月 18 日(金)~4 月 23 日(水)
午前 10 時~午後 7 時

開催場所:富士フィルムフォトサロン札幌
札幌市中央区大通西 6 丁目 1 番地

同窓会結成 60 周年記念事業について

記念式典:平成 26 年 10 月 25 日(土) 16 時~17 時
札幌パークホテル 3F エメラルド A

記念祝賀会:平成 26 年 10 月 25 日(土)
(同窓の夕べ懇親会と同時開催) 18 時 30 分~20 時 30 分

札幌パークホテル 3F パークホール
記念誌作成:仕様 A4 判 約 200 頁 平成 27 年 3 月末(予定)

2014(平成26)年度入試動向について

入試課長 西村 元

全国の進学状況

大学・短大への志願者は、1992年度入試をピークに減少し、ここ数年は75万人前後で推移しています。2013年度入試は前年度よりやや増加し、2014年度入試では、18歳人口の減少による影響で志願者は減少に転ずると予測されています。

一方、入学定員は約65万人とピーク時からほとんど変化しておらず、近年の大学・短大全体での受験競争が緩和される傾向になってきています。

また、近年の入試環境の変化の特徴の一つとして、AO入試(アドミッション・オフィス入試)・推薦入試による入学者の増加があげられ、それらの入学者数が全入学者数の40%を超えるまでになっています。それと同時に、大学入試改革においてはAO入試・推薦入試による入学者の学力の保証が課題ともなり、議論されています。

北海道の進学状況

引き続き「地元志向」「国公立大学への志願増加」「受験の併願数の減少」といった傾向が続いております。また、2014年3月卒業生は高校旧課程の最後の学年であり、来年度からは新課程で学んだ生徒を対象とした入試が始まります。この「新課程入試」も見据えて北海道の入試動向についてみていきます。

北海道地区は元来、地元志向が強く、7割以上が地元進学をしています。この傾向は今後も続くと思われまます。ただ、関東・関西圏の私立大学が地方の試験会場設置に力を入れるようになったため受験しやすくなり、若干の道外流出が起こる可能性も考えられます。

北海道での国公立大学への志望は、依然として強く、この不況下でより一層その傾向は強まっています。多くの高校でも、道内外の国公立大学進学を積極的に勧め、学校内での相談会も全国の国公立大学担当者を招いて開催されるようになってきました。学

費の安い国公立大学も本格的に入試広報を行う時代となり、道内の国公立はもとより弘前大学・岩手大学など東北からの広報活動も増え、道内私立大学にとっては厳しい状況ともなっています。

併願受験数については手控える傾向が顕著となっています。一般入試の検定料は1校1学科あたり約3万円であり、受験校が増えることに検定料はもちろんのこと、交通費・宿泊費等の受験費用が増加します。1回の検定料で他学部を併願出来る大学もあるため、そのような大学に志望が増えることも考えられます。今後も併願数は押える傾向が続くでしょう。

2014年度入試(今年度)は、「旧課程入試」最後の入試です。高等学校における学習指導要領の改訂が2012年度に行われたことにより、来年度から受験科目数や内容に変更があり「後がない入試」とも言われ、現受験生にとっては厳しい入試となります。移行措置は多少あるものの、浪人を避ける傾向は強まり、入試動向へも影響を与えています。

本学の2014年度入試出願状況について(1月31日時点)

このような入試状況を背景に、本学の2014年度入試の出願は、一般入試が昨年より14%減(-660名)、センター利用入試は、24%増加(+419名)となりました(表1参照)。

本学は国公立大学との併願が多いことや、受験校数の絞り込み、センター入試の基幹3教科「国語、数学、英語」の平均点アップなどによる影響も考えられます。さらに、新課程入試を控え、国公立大学への出願はランクを下げて安全・慎重に行われた結果とも考えられます。文系では小樽商科大学・北海道教育大学、理系では室蘭工業大学・北見工業大学と合格ラインが重なりまますので、本学合格者の手続に微妙な影響がでます。

北海道の少子化は、2014年度だけで高校生2,600人の減少といわれ、より良い学生を少しでも多く確保したい道内の大学にとって厳しい状況です。本学では、推薦入試の比率が低く、一般・センター試験利用ともレベルの高い入試が行われております。この厳しい入学試験を経た向学心旺盛な学生が多数入学してきます。このことは、本学がある程度の評価をいただいている証でもあり、この評価に甘んじることなく、教育内容の充実を図っていききたいものです。

本学では、受験生自身が「大学で何を学びたいか」、「将来何を目標にしたいか」など、目標・目的をもって進学をしてもらうために、オープンキャンパス(表2参照)、ミニオープンキャンパス(表3参照)、各高校での出前講義・説明会、各地における相談会等、積極的に開催しております。この機会を活用していただきたいと思ひます。

努力を重ね、厳しい入試をくぐり抜けてきた気概ある受験生が、一人でも多く新入生として本学の門をくぐることを期待しています。

表1 平成26年度入試一般入試・センター試験利用入試(II期を除く)志願者数

一般入試		H24	H25	H26	増減	
1部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	1,309	1,506	1,268	-238	
	経営学科	489	526	458	-68	
	経営情報学科	334	396	293	-103	
	法学部(法律学科・政治学科)	1,004	921	780	-141	
	日本文化学科	289	269	267	-2	
	英米文化学科	229	248	245	-3	
	社会環境工学科	56	65	78	13	
	建築学科	51	107	98	-9	
	電子情報工学科	84	131	106	-25	
	生命工学科	115	87	79	-8	
	1部計	3,960	4,256	3,672	-584	
	2部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	163	148	128	-20
		経営学科	79	96	98	2
法学部(法律学科・政治学科)		142	140	102	-38	
日本文化学科		39	49	33	-16	
英米文化学科		29	26	22	-4	
2部計	452	459	383	-76		
合計	4,412	4,715	4,055	-660		

センター試験利用入試(1期)

センター試験利用入試(1期)		H24	H25	H26	増減
1部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	325	282	309	27
	経営学科	209	219	313	94
	経営情報学科	132	151	211	60
	法学部(法律学科・政治学科)	290	191	338	147
	日本文化学科	109	129	142	13
	英米文化学科	108	132	171	39
	社会環境工学科	181	127	149	22
	建築学科	160	154	188	34
	電子情報工学科	161	188	172	-16
	生命工学科	-	104	103	-1
	1部計	1,675	1,677	2,096	419

一般入試・センター試験利用入試志願者数 合計	6,087	6,392	6,151	-241
------------------------	-------	-------	-------	------

※経済学部、法学部は学部単位での出願です。
 ※センター試験利用入試(1期)のH24、生命工学科は実施せず。
 ※増減はH25とH26の差です。

表2 平成26年度オープンキャンパス

	受付	開催時間
第1回	6/29(日)	12:30~13:00 13:00~16:00
第2回	8/6(水)~7(木)	
第3回	9/28(日)	

*大学説明会・学部説明会・模擬講義・学生スタッフ相談・学内ツアーなど実施

表3 平成26年度ミニオープンキャンパス(地方開催)

	会場	受付	開催時間
10/4(土)	函館(函館北洋ビル)	13:30~	14:00~16:30
10/25(土)	帯広(とかち館)		
11/1(土)	旭川(旭川北洋ビル)		

*大学説明会・個別説明会・推薦入試講座・大学紹介(DVD上映)など実施
 *翌日の日曜日は、在学生の保護者懇談会が開催されます。

就職戦線

キャリア支援センター事務長 吉村武彦

今年度は、北海道内の私立大学生にとっての、いわゆる就職活動開始時期が12月となってから2年目を迎えたこともあり、企業側・学生側ともに大きな混乱はありませんでした。景気回復の兆しも見え始め、求人件数も増加の一途を辿っており、企業側の採用意欲の高まりが感じられますが、企業の求める人材がより厳しさを増しています。

このような状況の中、キャリア支援センターとしては、公務員希望・民間企業希望の両学生向けに各種セミナーを実施するとともに、その内容についても更なる充実を図るべく創意工夫をしてきました。特に、学生の意識向上にも繋がるインターンシップを見直し、その事前事後指導について大幅に充実させるとともに派遣学生数の増加にも努めました。結果として、民間企業だけではなく道庁や市役所等の公務員関係の派遣先も例年以上に確保し、昨年実績の1.5倍をはるかに超える340名もの学生を派遣することができました。その効果もあり、4月から新4年生となる学生たちからは、例年以上の積極性が感じられ、就職ガイダンスや業界研究会等への参加学生数も昨年度より多く、就職活動への意識が向上していることが窺えます。

学生たちが業界研究・企業研究を重ね、採用試験にチャレンジする企業を絞るにあたって、その企業に本学卒業生がいるか否かも学生にとっても大きなメリットとなります。キャリア支援センターでは、学生たちに対して企業訪問とともにOB・OG訪問もおおいに推奨しています。卒業生の皆さんは、お忙しい日々をお過ごしのこととは存じますが、学生が人事課や総務課等を通してOB・OG訪問をお願いした際には、是非ともお引き受けいただき、社会人としての厳しさも含め、学生の就職活動に役立つお話をしていただけますようお願い申し上げます。

公務員・教員登録状況 (2014年1月末現在)

	2014年/3月 卒業	2013年/3月 卒業	
国家公務員総合職		1	
国家公務員一般職	78	19	
国税専門官	25	10	
労働基準監督官	1		
財務専門官	1		
法務教官			
裁判所職員一般	10	11	
自衛隊幹部候補生	3		
自衛隊一般曹候補生	7	11	
北海道職員	一般行政	20	8
	教育行政	2	
	技術系	1	1
	警察行政	22	29
	小中学校事務	1	11
障がい者		2	
その他道府県			
北海道警察	男性	77	77
	女性	13	11
警視庁警察官	5	6	
その他警察官		5	
札幌市	行政	41	42
	技術系	4	3
	学校事務	4	3
	消防	16	13
その他市町村	102	136	
その他 ※	87	102	
小計 (公務員)	520	501	
公立学校教員	2	11	
総計	522	512	

※国立大学等独立行政法人、東京消防庁など

学部別男女別内訳 (2014年1月末現在)

		経済学部	経営学部	法学部	人文学部	工学部	合計
		I部	男子	162	163	127	
	女子	39	84	60	92	22	297
	I部計	201	247	187	125	199	959
II部	男子	58	45	35	11		149
	女子	6	7	15	15		43
	II部計	64	52	50	26	0	192
	合計	265	299	237	151	199	1,151



学生による学生ののための就職セミナー



就職ガイダンス

国政で活躍するOB対談

衆議院議員

船橋 利実さん

(工学部土木工学科 昭和58年卒)

衆議院議員

中村 裕之さん

(経済学部経済学科 昭和59年卒)

衆議院議員名簿は北海道から始まることから、1ページ目に北海道大学卒業が2名も並ぶという快挙を成し遂げた卒業生二人に、おおいに語ってもらいました。

■北海道大学の校風で得たものが政治に活きる

中村…父は建設業ですが、うちの父は「世襲の時代ではもうない、公共事業が潤沢に続くわけがない」と、昭和50年代からずっと言っていました。そういう意味では非常に先見の明のある父で、私は長男なので「お前は弟と妹の面倒を見られるくらいのことほしとけよ」ということだったので、公務員を志望し道庁に入って5年間勤めました。

後志19町村の中で一番人口がいないのに、20年間道議会議員を出していない町だとの議論が地域の仲間から出て、「中村がいいぞ」ということになりました。行政も経験していたし、事業経営でも銀行とも渡り合ってきました。地域のいろんなイベントとか町づくり活動に参加した中で、道議へと推してくださる声をいただきました。そこで「よし、やったる」ということになりました。

船橋…実は私は、3年生のときに北海道大学に編入学しました。それまでは石川県の大学に通っていましたが、なかなか気候と人に馴染めなくて、編入試験を受けたのです。大学の2年間は坂上先生はじめ本当に良くしていただきま

した。それと在学中に世の中の不公平感というものに疑問を抱いている時期でもありました。大学を卒業した年に総選挙があり政治家が世の中の不公平感を解消する仕事だということを初めて認識しました。そして、社会に出て、8年間会社に勤めている中で出会った人とのつながりで、政治の道に進むことになってしまったのです。

子どものころから私を知っている近所の人たちが、ある日突然押し掛けてきて、この地域の市議会議員が退任するので、「船橋の息子を地域のために働かせろ」という。そこで親父と相談をして、世の中に恩返しをしようということ



衆議院議員名簿の最初のページに

■地域とのつながりを大事に、北海道の政治から国の政治へ

船橋…初めから国政を目指して国会議員になった方と、いわゆる我々のように叩き上げて国会議員になった場合の一番の違いは、人

とのつながり方だと私は思っています。ひとつの物事を考えて進めたいこうとするとときに、そこに関係する人たちの利害について、どれだけ細かく本当の意見というものを吸い上げることができると、我々の方がはるかに情報量としては多いし正確だと思っています。だから、自民党の中でいろいろと発言をさせてもらう機会がある中でも、「彼らは少し違う」というふうに認識してもらえると我々は思っています。

中村…私は道議をおよそ10年務めました。選挙区は農山漁村が多く都市から比べると政治に頼っている部分が多い地域でした。国会

二人の北海学園大学卒

議員を目指した選挙区は都市にまで広がり、過疎地域もあれば、都市もある。

ですから地域の人と色々なお話をし、聞いてきたものを国政の場に反映させていく時、都市と農山漁村の意見を同じ重みで伝えていけるのは私たちの基礎になって

います。また、私にとっては、道議時代の選挙区が一番の地盤ですから、そこでは絶対負けないぞ、と。でも都市部では、そういうときに

にやはり北海学園大学の先輩方が、特に同窓会の方々がすごく力を貸してくれて、本当に助けられましたね。

船橋・私の場合は、地元の選挙区からいわゆる「国替え」をして札幌の中心部の選挙区で立った。勝てるという自信があったから、選挙区を変えたわけですが、北海学園大学の同窓生の方々のバックアップが非常に心強かったですね。



■若い同窓の仲間へのメッ セージは、チャレンジ精神

船橋・自分の反省も踏まえて、何事にもチャレンジし「よく学び、

よく遊べ」ですね。私が卒業した頃は、世界に目を向けるということとは、言葉としてはありましたが自分たちが身近に世界に目を向けた学びの機会を得るということでは、必要性をあまり感じていませんでした。

でも、今は、最低でも2カ国語、できれば3カ国語、母国語プラス1、2カ国語。この程度は読める、書ける、話せるようにしていかなければ、と思います。

それと同時に、言葉を学ぶだけではなくて、学んだ言葉を生かす場を求めて、日本人ではない人たちに出会う。それはその外国の地に行くこともいいでしょうし、国内にいる外国の人たちと交流すること、ということも大事でしょう。日本人だけの世界から、幅を大きく国際的な部分に広げていってほしいですね。

中村・チャレンジですね。ビジネスばかりでなく、いろいろな分野でチャレンジをしていくことが大事ですね。大変なときに一緒にいてくれる仲間。人を大事にしながらチャレンジする。

今、金融機関では個人保証がなくてもお金が借りられるようになったり、会社を設立するのも簡単になったり、あるいは再チャレンジもできるような仕組みに



変わってきていますからチャレンジの場は拡大しています。

中でも非常に大事なことは同窓の縁でしょうね、ありがたいです。あまり難しいことを言わなくても、「お！そうか学園か！」と、これで済むわけです。そういう先輩がたくさんいますね。それぞれがチャレンジし合い高まっていけば、一番いいと思っています。若い人みなさんがんばってくださいね。

■国政にかける これからのお願い

船橋・国会議員としては年齢からすると遅咲きの部類と言われる年齢に二人ともいます。ただ、人生80年と言われる時代の中にあつて、政治家としていくつまでその

職責を果たすことが適当かということはありませんけれども、その分、この50何年間かの間に、私たちは北海学園大学で学び、そして社会人経験をしながら、同窓のみなさんとのつながりの中で今この立場を与えられています。どこまで政治家としてみなさん方に、あつと驚くような立場で仕事をさせてもらえるようになるのか、というのが私のこのこれからの楽しみです。

中村・幸せなことに同期の1年生議員が全国に115人います。自民党が大勝したからですが、もうひとつは世代交代の時期でもあったわけで、115人の同期と仲間を作れるということ、は、もう全国どこにいても、いろいろなお話をできる訳です。仲

間を大事にしながらやって良い仕事をしたいと考えています。ともに頑張りましょう。(平成25年12月25日・札幌パークホテル)



■船橋 利実 (ふなはしとしみつ)
昭和35年11月20日生まれ
モットー「世のため人のため」
略歴：平成3年に北見市議会議員、平成7年に北海道議会議員となり5期18年の議員活動を重ね平成24年第46回衆議院選挙北海道1区から自民党公認で初当選する。厚生労働委員会委員、科学技術・イノベーション推進特別委員会委員などを務める。



■中村 裕之 (なかむらひろゆき)
昭和36年2月23日生まれ
座右の銘 知行合一(ちこうごういつ) 真の知と真の行いはひとつのものである
略歴：平成15年に北海道議会議員となり3期10年の議員活動を重ね平成24年第46回衆議院総選挙北海道4区から自民党公認で初当選する。国土交通委員会委員、総務委員会委員などを務める。

Funahashi.T

Nakamura.H



研究室のいま

工学部生命工学科教授

鈴木 聡士

—担当科目 学部 地域環境システム論、社会心理学、合意形成論、情報リテラシー演習Ⅱ等
大学院 計画システム分析特論

- 略歴 1997年北海学園大学工学部土木工学科卒業、2002年北海学園大学大学院工学研究科博士（後期）課程修了。博士（工学）。札幌大学経済学部准教授、アムステルダム自由大学客員研究員を経て、2008年より本学准教授、2013年より本学教授。
- ・主な著書・論文：“A Distance Friction Minimization Approach in Data Envelopment Analysis” (European Journal of Operational Research, Vol.207, Issue 2, pp.1104-1115, 2010)、等
 - ・社会活動：北広島市総合計画推進委員会委員長、岩見沢市ごみ減量化検討委員会委員、北海道次世代北方型居住空間モデル構想推進協議会委員、等
 - ・学会活動：日本地域学会、日本環境共生学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本感性工学会、土木学会、日本都市計画学会 等

恩師から受け継いだモノ

私は、学部・修士・博士の全ての学歴が北海学園大学。母校の教壇に立ち、母校の研究室で日々学生（後輩）の教育、そして研究活動に携われることに、大きな喜びと誇りを感じています。

そのような訳で、いままでの「研究室のいま」とは、少し趣が異なる「研究室のいま」を紹介したいと思います。そして、それを語る上で、「研究室の歴史」を語ることは、避けて通れません。

私の恩師、五十嵐日出夫先生は、北海道大学を定年退官された後、北海学園大学工学部に赴任されました。その恩師から、博士（後期）課程進学のお誘いを頂いたのは、学部4年生の4月。私の人生と運命を変えた、この上なく大きな、そして大切な出会いでした。以来6年間、五十嵐先生とともに築いてきた研究室には、本当にたくさんの思い出が詰まっています。しかし、教員の退職とともに、研究室はなくなってしまいます。2002年3月、研究室最後の日、五十嵐先生と約束を交わしました。「いつの日か、母校に帰ってきて、この研究室を復活させます。」

その後、私は他大学で経験を積み、アムステルダム自由大学において、客員研究員として海外研修の機会を頂きました。私がオランダに滞在を始めて一ヶ月が過ぎた2006年10月20日、真夜中にいきなり携帯電話が鳴りました。「だれか時差を考えないで日本からかけてきたんだろう」と憤りを感じつつ電話に出てみると、「五十嵐先生が亡くなりました」という、信じられないニュースを突然聞かされました。

私は、海外滞在中の身分であり、自由な帰国は認められていないことから、最後の最後に恩師と会うことができませんでした。一生の後悔として残り続けると思います。

2008年4月、存命中には果たせませんでした。五十

嵐先生との約束をようやく果たすことができました。恩師との出会いの場となった、母校の研究室を復活させる機会に恵まれました。恩師が、そうさせてくれたのかもしれませんが。

2012年、私は社会環境工学科から生命工学科に移籍となりました。当然、研究室も学科を跨いで引っ越しです。しかし、カタチやテーマは変わっても、恩師から受け継いだモノを学生に伝えることに、なんら変わりはありません。教育や研究にける熱意を学生に伝播させ、学生の成長を促すことの大切さを、恩師から学びました。それを実現させるため、本研究室では卒業研究のテーマを学生が探し、自分自身で決めさせます。自分が興味のあるテーマを自分自身で決めないと、学生は本気になりません。そしてその成果は、必ず卒業直前の2月に学生自身が学会で発表しています。学生・教員双方の苦労は相当なものではありますが、このプロセスこそが成長の糧であり、学生自らが考える力を養うことにつながります。

そのようなプロセスにおいて、大いに頼りになるのが、研究室の同窓会。毎年、中間報告会や最終報告会には、多くの卒業生が参加し、たくさんの意見やアドバイスをくれます。そして、その後の懇親会において、学生・卒業生双方がネットワークを築くことができます。この同窓会（参福会）も、恩師が遺してくれた大切なモノであり、守り育てていきたいと思っています。

最後の最後に、恩師に会えなかった気持ちを糧にして、これからも研究室を発展させ、多くの学生を育てていきたいと思っています。それが今、私にできる恩師への唯一の恩返しなのだと信じています。



卒業研究の学生たちと



研究室同窓会における卒業研究報告会の様子



現役学生インタビュー

北海道空手道部

主務 清水 大樹さん

部員 山中 敦太さん

部員 木田 郁也さん

(経済学部地域経済学科2年) 全日本空手道連盟初段 (法学部法律学科2年) 全日本空手道連盟初段 (工学部社会環境工学科1年) 全日本空手道連盟一段

半世紀に及ぶ伝統を守り さらに新しい歴史を刻んでいく

北海学園大学が誕生してすぐの、応援団につぐ二番目の部活動として創設された伝統のある空手道部の皆さんに話を聞きました。

木田 私は男子形で全道優勝しました。

Q なぜ空手道部に入学したのですか？

Q 平成25年度の活動で、かなりの活躍をしたと聞きました。いかがですか？

清水 友だちに誘われて小学校3年から6年まで道場に通っていましたが、でも正直、道場の師範が怖くて、中学、高校では空手をやめてサッカーをやりました。「K-1」が人気のあった時期で、強さに憧れていたのは確かですし、空手そのものは好きだったんです。大学に入学しクラブ勧誘の時に練習の様子を見て、またはじめようと思っに入部しました。

木田 日高の富川で小学1年生のときからずっと空手をやってきました。友だちがやっていた面白かったのがきっかけです。それと空手は野球やサッカーと違って道具なしでもできるスポーツであることにも魅力を感じました。高校でも空手をやりたくて強豪の恵庭南高校に進み、大学は将来のことを考えて北海学園大学に進学しました。もちろん空手は続けたいと思っていたのですぐに入学しました。



山中 高校ではラグビーをやっていたんですが、大学に入ったら何か格闘技をやろうと考えていました。空手道部を見学に行ったらとっころ、部の雰囲気自分にはあっていると感じて入学しました。

Q 練習はどのようなスケジュールでやっているのですか？

清水 週5日、一日およそ2時間半です。練習メニューは主務の山中君と相談しながらですが、大学での練習のほかにも各自がそれぞれの流派の道場に通っています。実践に近い練習をそこで積んで、その練習を大学での活動に取り入れていきます。

木田 工学部なので2年生からは山鼻キャンパスになりますから、豊平キャンパスまで通ってくるのが時間的に難しくなりまして。なので、主要な練習は市内

の道場に通うことになりました。**清水** たまに諸先輩方が大学に来て指導をしてくださることもあります。

Q 空手道部の人気はどうですか？

山中 現在、部員数は9人ですが、新年度の部員の勧誘には力を入れていきたいです。私のように大学で初めて空手を始めた者でもちゃんと初段をとることができるようです。初段が取れる!!」という心者でもキャッチフレーズでいいと思います。

木田 学校で武道が必修になりましたが、空手を採用しているところはまだまだ少ないのですが、先ほども言ったように基本的に道具は必要がありませんから、誰もが楽しめるスポーツだと思います。



清水 北海学園大学で二番目に古いクラブです。昨年11月には60周年記念の会を開きました。これまで部員がいなくて活動が休止になったことはありませんので、この伝統をしっかりと受け継いでいくようにしなければならぬと改めて責任を感じています。



横蹴りの稽古 (左から木田さん、清水さん、山中さん)

Q 将来の夢はどうですか？

木田 まだどんな仕事をしてみたいのかという具体的な希望はないのですが、小学校の頃から空手で養ってきたことは必ず役に立っていきと思っています。

山中 私は弁護士を目指しています。空手道部の主務として事務的なサポートをしていることや、初心者でも頑張っってやっていることを将来に活かしていきたいです。

清水 私は公務員を目指しています。特に警察とか消防ですが、空手をやってきていることはきつと役に立つと思っています。もちろん、空手道部の伝統をしつかりと後輩に引き継いでいきます。

輝く北のまち 紹介リレー

③ いわないちよう
岩内町

～一度の人生、夢と希望を持って!～



人口：14,118人
面積：70.63km²

北海道内の町を訪問し卒業生とのインタビューを通じて、町のご紹介をしながら町の魅力を再発見していく企画の第3回は岩内町です。

2月4日早朝札幌駅発の高速バスで出発し、岩内町役場に上岡雄司町長を訪問しました。歴代町長と共に歴史を大切に刻んできた役場庁舎2階の町長室で出迎えて下さった町長は、町のキャラクター「たら丸君」の人形の横に飾られた新庁舎の完成図を示しながら、岩内町への熱い想いを語って下さいました。

～新庁舎と共に次の新しい時代へ～

昭和33年から使用している現庁舎の老朽化が進んできたため、昨年新庁舎建設に着手しました。海拔20メートルの場所に平成27年5月に完成予定です。

新庁舎完成に向けて、町ではマイナンバー導入を契機に秘密保持を図りセキュリティのグレードを高くします。また、ファイリングシステムの導入で職員間の公文書の共有を図ることで、町民へのサービスを向上させる取り組みも開始しています。これはニセコ町役場等を見習って導入しました。

住民への情報提供を図る必要性を実感しますが、新システム導入に当たり職員も勉強しますが、町民にも種々提言してもらいたいという強い願いがあります。

少子高齢化の影響や基幹産業である漁業の衰退により、最高時には25,843人だった人口は現在14,118人まで減少しました。

将来、新幹線は倶知安に停車する予定であり、高速道路も小樽から余市まで延伸の予定です。更に余市から倶知安までの延伸要望の運動も後志町村会として行っています。札幌までの利便性向上への期待もあり、国としても費用便益比(B/C)が高いと評価されて着工の目途がたっているようです。

道内の循環する交通網として、札幌市・小樽市・室蘭市・苫小牧市を繋ぐ役割の実現に向けて働き掛けていきたいと思えます。

わが町は70平方kmの面積の狭い町ですが、近隣の町村とも協力し合いながら、政府のバランス良いエネルギー政策の方向性を見極めつつ、今後も関係機関に働きかけていきます。

～洋上風力発電に懸ける町の将来～

最近、自然エネルギーの活用が大変注目されていて、ドイツやイギリスでは着床式洋上風力発電を実施していますが、現在日本国内において、洋上風力発電の施設は本格的には設置されていません。

経産省では福島県沖、環境省では長崎県五島市で実験的に運用し実証実験をしています。他のエネルギー源などをまかなえる程の発電量が見込めないということもあり、実現までには解決しなければならない難しい問題もあります。

しかし、土地面積が少ない岩内町にとっては、新しいエネルギー源として大きな期待が寄せられています。風が安定している日本海上に設置することで一定したエネルギーの供給が見込まれます。

是非この洋上風力発電の実現を目指したいと思えます。

岩内町にはコンパクトシティとしての将来性と可能性を感じています。より上を目指していくこともいいですが、現状を良く知り日本の生活水準の高さを再認識して、満足することも大切です。現代の人間だけで地球の資源を使い尽くしてはいけないうるのだから、行政はその点についても考えていかなければなりません。

町村合併の問題もあり既得権との関係でなかなか難しいが、時代と共に常に先見の明でみていく必要がある。その為には常に最



新の情報を得ていかなければならない。地元の政治家とも連携を取りつつ、地域の声を中央に伝えてもらいより良い北海道創りを目指したい。

～仲間と共に過ごした大学時代～

地元を離れて北海学園大学1年生の時は勉強に集中してしっかり単位を取得しました。翌年からはアルバイトにも精を出しましたが、横断歩道のライン引きの仕事で道内各地にも出向きましたが、親方には良くしてもらいました。

3年と4年のときには札幌にある役場職員の共済組合の寮に入り104名が一緒に生活をしました。当時からの5人の仲間との繋がりは今も続いていて大切な親友達です。若い時期にいろいろな経験が出来たことで人生の幅が広がったと思えます。

大学時代には自由の有り難さと責任感を痛感しましたね。大学の自由な校風が良かった。大学には感謝しかありませんね。

私は5人兄弟の中で育ったので皆で分け合う事の必要性や、中学1年から書店でアルバイトをしていたことで働くことの大切さは実感していました。人と比べるのではなく自分に与えられた中で努力することが大切です。

大学3年頃から岩内町長になりたいという思いを強くしました。その目標が定まってからは更に努力を重ねました。

～知恵を使い・根性を持ち・自分を高めよ!～

自分としての真実の一つです。いろいろな経験を通して判断力を養い、多くの情報の中から時代に沿って、よりベターを選び出す力を付けることです。他人に委ねたりしてはいけません。大学での4年間では勉強だけでなくいろいろなことに興味を持つことが大事です。

時には自分で自分を高め励ましつつ、物欲を抑え精神は高揚させることです。後輩の皆さんには社会に必要とされる人間になって欲しい。そして、身近な人を大切に、知恵を使い根性を持って給料分以上に働くことです。

また、学生は指導者次第で伸びます。大学では学生の可能性を伸ばすことが重要です。昔の法学部は72名中、女性学生は2名だった。現在は男女の差はありません。他者に甘えず男女がお互いに尊敬し合い競い合い能力を発揮してもらいたい。節度を持った挨拶が出来ることも勿論必要ですね。

出来れば海外に行って国外から日本をみることの必要性を感じ、離れてみて改めて気付くことがあることを知って欲しい。

人生は一回。良い時代を次の世代に繋げていきたい。

(取材・文責 同窓会幹事 成田真利子)

支部紹介

応援団OB尚志会

北海学園大学同窓会「豊平会」の各支部を紹介します。
昭和30年に「全学応援団指導部」として発足した応援団のOB会です。

創立：平成18年

〈会長〉

武市 憲一 (たけいち けんいち)

昭和45年 法学部卒業
札幌市議会議員(手稲区)
(第25代札幌市市議会議長歴任)



武市 憲一 会長

会員数：168名

事務局：札幌市中央区南8条西15丁目2番1号
道路工業株内

監督：桑山和夫

▶ 支部の創設

応援団は、昭和29年、8名の有志で、大学祭の運営を任せられ2,000名余の動員に成功し、翌年、東北学院大学との総合定期戦が、開催されるにあたり、その功績を大学に認められ、「全学応援団指導部」として発足し翌年「全日本応援団連盟」に加盟し他校と交流を図りました。社会奉仕の一環として札幌雪祭の道路交通整理を行い、札幌市及び札幌中央警察署より感謝状を頂いています。その後、紆余曲折はありましたが、今日まで本学の発展と歩調を合わせるがごとく躍進してきました。その間OBは、200余名に達し、その中には、本学の学生歌の作詞家である初代吉本直之氏など、多くのOBが各方面で活躍しています。OB会の発足は、初代の先輩方が卒業と同時に「尚志会」と名称し、その目的を建学の礎たる開拓精神に則り、良識ある社会人となり、本学並びに応援団の発展に寄与すると共に、会員相互の親睦を図るとしました。応援団への支援体制として、現役を補佐する監督・副監督の役職を設け、東北学院大学定期戦、全日本野球応援、全日本応援団連盟祭などへ同行、団旗等を作成する際の資金援助などを行ってきました。近年、現役学生の減少によって会員の高齢化が進んでいますが、本年度、現役学生が応援団へ入団し、一般学生にも応援団に関心が広がり更なる入団者が増え、今後の尚志会の若返りに期待するところです。

▶ 東北学院大学応援団との交流

昭和30年に第1回定期戦が札幌の地で行われて以来、各クラブ全力を尽くして、競技にあっていますが、北海学園大学の連敗は、続いています。応援団は、いつの日か総合優勝する事を願しつつ、市中パレード・対面式・開会式・閉会式のエール交換・各競技に気合の入った応援を行ってきました。定期戦の間、両校団員は、遠征先で同学年の団員自宅や下宿アパートに宿泊して、応援活動の終わった後、札幌ではススキノ、仙台では国分町で「酒」を酌み交わし、友情を深めてきました。未だに卒業年同士が時を経て後頭部が薄くなった今でも、交流を持っており、会えば当時の辛い境遇が、一番の話題になっています。定期戦40周年は、仙台で行われた為、尚志会OB有志でツアーを組み現役学生に同行して、東北学院大学応援団OB会主催のレセプションに参加し、両校OBの親交を深めて参りました。

▶ 総会・新年会・同窓会

毎年2月の第1土曜日に尚志会の総会・新年会を開催しています。たまに、本州から、思いがけないOBも加わり、毎年のごとく、現役時代の合宿、遠征などの話で盛り上がっています。近年、学生気質の変化により学生服を着て、母校応援のた

めに大きな声を出すことへの違和感から、新入団員の減少により尚志会への新会員の減少が続いていました。しかし今年度、卒業生の子息が友人と共に、自ら奮起して入団してきました。定期戦においては、団員のいない時の応援団に代わって、体育会がOB尚志会の指導のもと校旗掲揚、市中パレード、エール交換を行っていましたが、数年ぶりで現役学生が東北学院大学応援団とエール交換ができました。又、本学同窓会場においても、毎年、OBが学生歌・エールを行っていましたが、今年度は現役学生「団長」により、大勢の同窓会の皆さんの前で、切れのある振りで声高らかにエールを行いました。これぞ「応援団ここにあり」と、存在感を示し、会場から万来の拍手を頂き、OB一同感涙し、今後に大いに期待しているところです。

▶ これからの活動

今回の応援団再興に際しては、OBの活動と学校側の協力による会報・学報へ応援団の記事を掲載頂いた賜物と思っております。数年間、現役学生がいなく活動を停止していた為、エールの型、校歌、学生歌の振り、校旗・団旗の持ち方、他校との渉外などを、多くのOBが、時間をとり現役学生に伝統継承の指導にあたりました。更に学生服、応援備品購入と、物心ともに支援を行っています。伝統は一度切れると復活は大変なことです。これからは毎年入団者が続き、現団長のもとで団旗、太鼓、一般リーダーによる応援ができることが、OB一同、心から願っているところです。

北海学園大学卒業生は、あらゆる方面で活躍し大学の名声を高めている現在、その一員である我々OB尚志会員も、微力ではありますが、社会に貢献し、本学並びに応援団の発展に寄与すべく活動を続けて行きます。

これからも、森本会長・本校の役員・事務局の皆様方のご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。



50周年記念式典 (H16.12.4)



OB尚志会エンブレム



応援団バッヂ

◆◆ 支部だより ◆◆

ゆうほう会総会

西村 元 記

第22回目の十五夜ビアパーティーは、2013年9月19日(木)に全日空ホテル「パルテール」において、池田桑男先生(顧問(法I-S43卒2期、北海学園大学教授))ご令室池田和子様をお迎えし、会員30名の参加で開催されました。

定刻の18時30分より、村口康博総務幹事(法I-S51卒10期)の司会により始まり、板垣俊夫幹事長(法I-S46卒5期)の開催挨拶のあと、総会が開催され、①平成24年度事業報告、②平成24年度会計報告、③平成25年度事業計画について、また、会計監査は、豊田嘉章監査(法I-S44卒3期)にて実施された旨の報告が、大宗久前監査(法II-45卒4期)より行われました。

さらに、村口幹事より、これまでの「ゆうほう会」主要事業の経過と展望が示され、平成26年度は法学部開設50周年にあたることから、どのような企画を立てるべきか、参加者への問い掛けがありました。

総会に引き続き、関寛会長(法I-S45卒4期)の「乾杯」のご発声により、懇親会が開会されました。豊平会より御祝金をいただいた報告、池田先生の奥様にご参加をいただいた報告がありました。

今回は、1期の参加者が多く、池田先生の思い出や近況報告と在学中のことなど語り合いはつきなく、大いに盛り上がりしました。

一同、横断幕のもとで集合写真を撮影し、最後に、1期の後平邦彰副会長(法I-S42卒1期)より、池田先生のご冥福を祈りつつ、この「ゆうほう会」の繁栄を祈念し、一本締めで会を閉会しました。



稚内支部



東京支部首都圏会

支部総会開催報告

(平成25年9月以降)

- H25. 9.12 稚内支部
- 9.14 経三期会
- 9.19 ゆうほう会
- 10. 4 東京支部首都圏会
- 10.26 会計学友会
- 10.26 経八期会
- 11.16 根室支部
- 11.22 旭川支部
- H26. 1. 9 豊陽会
- 1. 9 北門会
- 2. 1 応援団OB尚志会
- 2.15 北社会
- 2.21 木端会



豊陽会



会計学友会



経三期会



応援団OB尚志会



根室支部



経八期会

平成26年度支部総会開催予定 (平成26年4月～平成27年3月)

	支部総会(予定)	場所	連絡先
4月	千歳支部(4/17)	ベルクラシック・リアン	支部長 石塚 雅樹
	山岳部OB会(4/19)	札幌市民会館	総務 名越 茂 TEL: 011-822-8664
	グリークラブOB会(4/26)	ホテルノースシティ	会長 田村 英治 TEL: 090-5954-6231 E-Mail: tamchan.e.t@docomo.ne.jp
	苫小牧支部	未定	事務局長 谷口 孝朗 TEL: 0144-72-3315
5月	岩見沢市役所支部	未定	副幹事長 高瀬 正浩 TEL: 0126-23-4111(内線331)
	小樽支部	未定	事務局長 島口 利一 TEL: 0134-54-8018
	北翔会(下旬)	ホテル札幌ガーデンパレス	副会長 木村 隆暢 TEL: 011-700-5611
	北海学園大学支部(下旬)	北海学園大学	支部長 笹川 雅司 TEL: 011-841-1161(内線2226)
	江別市役所支部(または6月)	未定	事務局長 東 嘉一 TEL: 011-381-1007
	6月	静内支部(6/6)	ホテルローレル
経六期会(6/6)		未定	事務局長 桑山 博年 TEL: 011-665-1351
サッカー部OB会(6/14)		KKRホテル札幌B1F プールテル	会長 阿波 昭則 TEL: 090-6994-9069
帯広信用金庫支部(6/14または6/21)		ホリデーインホテル十勝川	支部長 高松 弘幸 TEL: 0155-24-3171
道南支部(6/27)		フレンチレストラン・クリマ函館(予定)	会計幹事 堀内 博志 TEL: 0138-56-2233 E-Mail: hori5623@msc.ncv.ne.jp
岩田地崎建設支部(6/27)		岩田地崎建設本社会議室	評議員 行方 和夫 TEL: 011-221-2221
蝸牛会(6/29)		ホテル鹿の湯	会長 木津谷士朗 TEL: 011-683-2727
関西支部(下旬)		未定	支部長 澤 定夫 TEL: 0797-32-4601
つうけん支部		未定	支部長 大石 康文
経五期会(または7月)		未定	事務局 中川 正昭 TEL: 090-5074-4177
7月	東園会	札幌東急イン(予定)	会長 大庭 雄一 E-Mail: yuichi_ooba@jotetsu.co.jp
	札幌東区支部(下旬)	札幌市内	支部長 佐藤 寿一 E-Mail: j-satoh@doka.co.jp
	札幌市役所支部	札幌サンプラザ	事務局 河井 基博 TEL: 011-211-2222
8月	会計学友会(または10月)	未定	事務局長 桜田 久 TEL: 011-728-0002
9月	経三期会(9/13)	ホテルノースシティ	事務局 志村 道弘 TEL: 090-5220-8300
	道庁支部(下旬)	KKRホテル札幌	幹事長代理 根津 涉 TEL: 080-1895-8592
10月	東京支部首都圏会(10/3)	未定	支部長 岩井 久則 TEL: 048-738-3761
11月	旭川支部	未定	事務局長 阿部 陽一 TEL: 0166-66-6606
12月	釧路支部(下旬)	釧路プリンスホテル(予定)	支部長 花井 啓司 TEL: 0154-22-2345
1月	豊陽会(1/8)	総会・研修会:市立札幌大通高等学校 懇親会:ホテルロイトン札幌	事務局長 渡邊 啓 TEL: 011-251-0229 E-Mail: 105kei33@gmail.com
	北門会(1/8)	市立札幌大通高等学校	事務局長 岡積 義雄 TEL: 011-303-6868
2月	木端会(2/20)	ホテルモントレー エーテルホフ札幌	事務局長 濱川 俊久 TEL: 011-708-0544 E-Mail: hamakawa@nyc.odn.ne.jp
	伊藤組土建支部	未定	

クラブ・サークル活動通信

卒業生、サークルOB・OGの皆さん、
応援よろしくお願いします！

【準硬式野球部】 主将 佐々木 瞭 経済学部3年

準硬式野球部は現在、選手40名、マネージャー10名で活動しています。2013年には、北海道大会準優勝し、全国大会出場を果たしました。そして2014年の目標は「全国大会制覇」です。この部は、一部、二部の学生がいますが、週5回、短い練習の中、皆「全国大会制覇」という一つのベクトルに向かい、汗を流しています。支えてくださる周りの方々に「感謝」の気持ちを忘れず、これからも切磋琢磨、チーム一丸となって目標に向かい頑張ります。

また2013年の東北学院大学との定期戦では、50年ぶりに勝利を収めました。このように私達準硬式野球部は、今後も成果を残すことによって、皆様に恩返しをしていきたいと考えています。



【アカペラサークル Lapis】 会長 三浦 魁 経営学部2年

Lapisは、少人数グループでの無伴奏合唱によるアカペラ活動を行っています。合唱とは異なりマイクの使用を前提とするため、声でパーカッション効果やベース等の楽器の音を真似、様々な表現方法を用いて演奏します。

そもそもアカペラとは2000年頃からゴスペラーズが人気を得てアカペラが一般に知れ渡るようになり、2001年からフジテレビのバラエティ番組のコーナーにおいて、学生によるアカペラのコンテストを行う「ハモネプ」が放送され人気を呼びました。その様な形で人気を得たアカペラ活動をLapisでは行っています。

現在男子21名、女子8名で構成されており、経験者はもちろん初心者の方も入会しています。週1、2回程度の活動を行い道内で行われる様々なアカペラ活動に参加をする為練習に励んでいます。最近では道内のNALという1年生主体の大会において優勝するなど輝かしい成果を収めました。これに続きこれからも積極的に学校行事や道内での活動を通じアカペラというものを世間の方に広めていきたいと思っています。



事務局からのお知らせ

◆支部長交替

根室支部

平成25年11月16日付
田村 悦郎氏⇒端 明彦氏 (昭和45年経済学部卒業)

石狩市役所支部

平成26年4月1日付
大林 啓二氏⇒及川 浩史氏 (昭和59年経済学部卒業)

◆訃報

高木 繁光氏

昭和30年経済学部卒業
元北海道議 (昭和50年～平成19年)
元財団法人日本消防協会会長 (平成22年～平成24年)
平成25年9月10日逝去 (84歳)

佐々木 昭宏氏

昭和40年経済学部卒業
室蘭支部支部長 (平成11年～平成25年)
平成25年9月19日逝去 (70歳)

熊谷 豊氏

昭和44年法学部卒業
同窓会評議員 (昭和62年～平成4年)
同窓会幹事 (平成6年～平成25年)
平成25年11月4日逝去 (67歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成26年度 行事予定	
4月	入学式 (4/2)
6月	評議員会 (6/25)
9月	会報 vol.73 発行 (9/15)
10月	ホームカミングデー (10/11)
	全国支部長会議 (10/25)
	60周年記念式典 (10/25)
同窓の夕べ (総会・懇親会・祝賀会) (10/25)	
3月	会報 vol.74 発行 (3/15)
	卒業祝賀会 (3/21)

北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
TEL: 011-841-1161 (内線1148)
FAX: 011-816-1001
E-Mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp
ホームページ: <http://www.hgu-dousoukai.org/>

「川湯温泉駅舎」(弟子屈)

道内探訪 vol.2 スケッチ

中村 保忠 作

プロフィール: 経済学部経済学科 昭和41年卒業
奈良芸術短期大学 洋画コース卒業
奈良市在住

住所等変更届けのお願い

会員の皆様へ、お名前、ご住所、勤務先等に変更が生じた場合は、お手数でもFAX・ホームページ、または同封の「住所等変更届ハガキ」にて同窓会事務局までお知らせ下さいませようお願いいたします。個人情報情報は同窓会活動以外には使用いたしません。